

「JA自己改革」広報誌連載企画  
第6号（5月広報誌）原稿  
テーマ「JAの仲間づくり（後編：青年・女性組織）」

今月は、担い手農業者として地域農業をリードする「青壮年部」「女性会」の代表に、JAの“仲間づくり”について、想いやメッセージをインタビューしました。

## ○JA青年組織の仲間づくり ～農業を次世代に繋ぐ～

全国農協青年組織協議会 西尾 理事

JA鳥取県青壮年連盟 潮 委員長 インタビュー



青壮年部では、“仲間づくり”を単にJAの利用者を増やすことではなく、**次世代の担い手を育成すること**だと考えています。

そのためにはまず、地域の方々に「**地域と食と農業の繋がり**」を知ってもらい、**農業を身近に感じてもらう**ことが大切です。

これまで、学校との連携により農業体験学習を開催し、子どもたちには田植えや稲刈りを実際に体験してもらい、先生方には研修会を通じて農業の大切さや魅力を理解いただくなど、私たちなりに仲間づくりを進めてきました。

しかし、農業者の高齢化や担い手不足が加速する中で、今まで以上に農業の魅力を発信し**農業を次の世代に繋いでいかなければなりません**。

今後は、より幅広く地域の方々を巻き込んだ活動に取り組みたいと考えています。

組合員の皆さん、是非とも私たちの活動へ積極的にご参加いただき、ともに農業を通じ地域を盛り上げていきましょう。

## ○JA女性組織の仲間づくり ～元気で！楽しく！美しく！～

JAとっとり女性協議会 福井会長 インタビュー



JA女性組織では、“**元気で！楽しく！美しく！**”をモットーに活動しています。

私たち女性の強みは「食」。味噌・焼き肉のタレ・トマトケチャップなどの加工品を皆で作ることで、そこから新しい**仲間づくりの輪**が広がります。

また、地域の人々が明るく楽しく繋がるため、手芸や踊りなど様々な活動にも取り組んでおり、毎年JA農業祭へ参加し私たちの活動を披露しています。

**一人だと上手くいかないこと、出来ないことも皆でやれば形になる！**

このような活動も、JAが地域にあるからこそ、続けることができます。

今後もJAとともに、楽しく仲間づくりの活動に取り組みたいと考えています。

**組合員の皆さん、是非とも私たちの元気でパワー溢れる姿を1度見に来てください。**

その際には、組合員かそうでないかに関わらず、近所の人、友人などを誘ってお越しくください。